



書家 加藤裕さん作 『久遠』

真宗高田派
賢隆山久遠寺

〒460-0007

名古屋市中区新栄1-4-6

Tel 052-241-5231

fax 052-241-5231

<http://kuonji.net>

Kenryuzan-kuonji@nifty.com

久遠寺住職の いま不思議ないのちを生きている！



毎年思うことですが、春になると冬眠していた草花が待っていましたの如く、芽を出し、色鮮やかな姿で私たちの心を和ませてくれます。しかしながら、それもやがて時がたてば枯れてしまいます。高史明氏の「ういう言葉があります。人間は山に木材を見て、山をみない。私たちは草花をきれいな時だけを見て、その根っこを生」のはたらきを見ていないのではないのでしょうか。山を見るとしても、人間の利用価値のみを追求し、自然の大きないのちの営みを見ることは難しいことであります。食べ物においても、動植物のいのちを獲つて、そのいのちで私たちは生かされていることをもう一度、考えるべきではないでしょうか。しかしながら、テレビでは、大食い大会とかで互いに競い合つて、食べ物を粗末に扱っています。それを見ている私たちは、昭和20年代の何も食べるものが無い時代に、親が辛抱して辛抱して、その中で互いに協力しあつて、子供たちになんとか食べることをさせていたことを知らねばならないと思います。その時代では、生きる為にとどうしてもお金が必要で、一生懸命働いていました。現在は、お金の為に生きているようであり、家庭・社会も混乱しているのではないのでしょうか。豊かな生活も有り難いですが、その一方豊かな心を持つて生きるには、自分の思い、自分の都合でしか生きたれない人生にいのちそのものの根っこを事実を明らかにして下さる仏法の教えを学ぶべきでありましょう。それでは、私たちは限られた枠の中で生きていることの意義をどのようにして見つけていけばいいのでしょうか。そこで、西洋文学であるグリム童話の中に人間の寿命の捉え方を紹介します。まず最初に神様が動物たちに均等に30年のいのちを与えました。口バにも30年の寿命を与えろと言いますと、口バは毎日毎日思い荷物を運ぶのが30年も続いたら敵いません。どうか短くして下さい。」と頼むのです。それなら神様は12年のいのちにしてやろう」と言われました。次に神様は犬にも同じように30年のいのちにしてやろう」と言います。しかし犬は人間の思うようにされ、泥棒除けに毎日吠えさせられることは敵いません。どうか短くして下さい。」と懇願するのです。下し、それではお前には18年のいのちにしてやろう」と約束されました。次に猿にも同

じことを言われます。とサルは人間から笑われ馬鹿にされる雲を仕込まれ、それが30年も続くことに耐えることは私にはできません。」と嘆いています。そうすると神様は「それなら20年にしてあげよう。」と言われました。次に人間に他の動物たちと同様に30年のいのちにしてあげよう」と言いますと、人間は「こう切り換えします。30年では何もしたいことができないア！」と言います。そうすると神様は、下しそれなら口バの18年、犬の12年、サルは10年を加えて70年のいのちにしてあげよう」と言い渡します。人間が始めからともども与えられた寿命は、30年。これに加えて口バのいのち18年分をもらって48歳、人間はこの年齢の時には、子供教育、会社でのストレスを感じながら日々を過ごさねばならない訳です。さらに加えて、犬の12年で60歳となります。この年齢では人間は定年となり、社会で名誉地位もあつたが今まで何をしてきたのかと問い、自分の存在感が失われつつある状態になるのです。ましてや猿の10年を貰うと70歳で周囲からは古いといわれ、身体も少しづつ衰え、人からは場違いなことを言つて笑われたり、無視されたりもする年代に入ります。このように考えますと、人生は何となく寂しく、侘しく感じてしまふに違いありません。この考えは、人間の価値を体力・知性を重んじたもので判断している訳です。人間は意志とまったく関係なく老いは必ずやつてきます。しかし、このような西洋の考えとはまったく異なつて、東洋の孔子の思想があります。老いの事実を認め、そこには自然態に生きることを示しておられます。三十にして立つ、四十にして惑わず、五十にして天命を知り、六十にして人の言葉に耳を傾ける、七十にしてあるがままに、経験を元にして人間が深められていく」と言われ、死ともともにいのちの繋がりが、賜つたいのちと共に生きるいのちに感謝し、何も出来なくしても与えられた輝きのちであり、物質への欲望ではなく、胸の中にもやもやしていた本当の願いに出遇わせて頂くのが人間の究極の願いであると私は思うわけです。

久遠寺住職

高山元智

合掌



親鸞聖人

四月

釈迦は慈父

弥陀は慈母なり

釈迦如来弥陀仏 我らが慈悲の父母にてさまさまの方便にて我らが無上の信心をひらきおこさせたまうとさうらえばまことの信心のさだまることは釈迦弥陀のおんはからいとみえてさうらう」

聖人の御書」

「又能生の因というは即ち父なり大悲光明はこれ所生の縁なり所生の縁というは即ち母なり」

聖人の御書」

はたらきかける主体を能生の縁とし、はたらきを受ける客体を所生の縁とすることあります。仏法の教えを主体とし、光明の慈悲を受ける身を客体とせねばならないわけです。ですから自分が主体ではなく、

慈父を因とし、光明の悲母が縁となります。双方が因と縁となり、また目にはみえない姿形となつて教えを蒙るのです。両親を縁として、祖父母を縁として、釈迦如来阿弥陀仏 親鸞聖人を縁として、本当の願いに生きるよう促されてある我が身でありましょう。

五月

この如来

微塵世界に

みらみちにまえり

微塵とは、聖人のお言葉に「まかなるちり」と仮名がつけられています。釈説阿弥陀経』には「十方微塵世界」とか「和讃』には「恒沙塵数の如来」とも示されています。如来が衆生を救わんがために「まかなるちりの如く、ガンジス川の砂の数 恒沙」くらいの諸仏がおられ、願いをかけられているのです。十方」とは東西南北その間の四方とで八方、それに上と下で十方であります。つまり、如来は私たち一人一人に誓いの願いをかけ、喚び続けておられるのです。

六月

凡夫

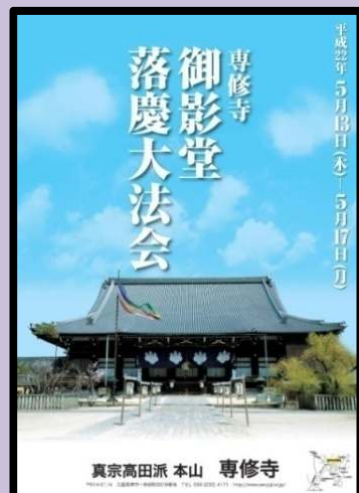
煩惱の泥のうちにありて

仏の正覚の華を生ず

高原陸地不生蓮華」とお経の中にあります。高原や陸地には蓮の花は咲きません。泥の中に花を咲かせます。この泥が私たちの自分の思い、自分の都合で生きている煩惱を指すわけです。泥の中でも、泥の中とも気付かず生きている私たちですが、病氣や老い、不都合なことがあつて、初めて悲しみを悲しみとして受け止めることができます。そうすることによって清々しく、温かな輝ける人生を歩ませて頂けるのでありましょう。



★平成22年5月16日(日)
高田本山専修寺
『専修寺御影堂落慶大法会』
久遠寺壇信徒参詣



平成22年5月16日(日)に高田本山専修寺の御影堂修復記念の大法会に皆様と共に壇参募集集中です。当日は落慶法要・ご法話・稚児練・五木寛之さんのご講演を聴聞予定です。バスも若干数空きが御座いますのでお悩みの方はご連絡下さい。壇参加のお申し込みは、お電話(☎052424115231)にてお待ちしております。皆様の参加を心よりお待ちしております。合掌

当日行程(予定)

午前七時半 集合・出発
午前十時 法要・法話・稚児練
午後一時半 五木寛之氏講演
講題「親鸞聖人のこころ」
午後三時 本山出発
午後五時 解散

※会費七円

(本山志・バス代・お弁当・記念品付)

仙教ツイズ

あなたはいくつ答えられる？！

①親鸞聖人が書かれた書物はどれ？

1、歎異抄 2、教行信証 3、御文

②親鸞聖人は流罪後、どこに行かれた？

1、三河 2、關西 3、關東 4、北陸

③親鸞聖人は何歳まで生きられた？

1、85歳 2、88歳 3、90歳 4、95歳

④親鸞聖人は息子を一人義絶しています。

何という名前ですか？

1、善鸞 2、世親 3、曇鸞 4、蓮如

⑤親鸞聖人は亡くなられた後、荼毘されました。その後どこに納骨された？

1、本願寺 2、大谷廟堂 3、奈良
4、清水寺 5、比叡山延暦寺

答えは、3ページの左下！！

久遠寺の掲示板



平成22年4月掲示

すべての人間をすべいの型に入れてしまおうと思ったら、間違ってある」
暁鳥敏

人間を型にはめようと思うことは、自分の思い通りにしようと思う心であり、人間の傲慢さの表れであります。現代人は周囲に合わせながら生きていくので、自分自身が納得しえない思いの中で孤立してしまっています。草花はどちらが美しいかを競うのではなく、ただ当り前のいのちを生き合ってそれぞれの花を咲かせます。私たちも互いのいのちに感謝したいものです。

長編連載 「支え合い」⑥

昭和区 久遠寺檀家の一員さん

又、余命……と宣告されても医学を超越した寿命は全うせねばなりません。人間この世に生を受け、成長していくのですが、人の一生は高貴な無限の時の極々僅かな生息の一時だと考えるところ、愚かなことはないと血眼になる位、愚かなことはないと考えてきます。暖簾に腕押し、風になれ、何ごとにも出来るだけ抵抗のないようにつとめ、苦勞を苦勞と思はぬ精神力を養い、視点低くすることによって心も休まるようになりましょう。でも当面の問題ごとを避けては通れないでしょう。解決に努力は必要で頑張りねばならないことでしょう。何ごとにも程々に進展し車のハンドルのように遊びを持つことも心掛けたいものです。誰しも人生には「まさか」という坂に出逢うこともありましよう。そんな時、立ち止まって休息することも必要でしょう。ギアエンジンで降りるような時もあるでしょう。いかなることでも最後は必ず時が解決してくれるものです。故に何ごとにもその場で即断・即決は宵越しにすることこそ良策が生じるものです。肉体はリズムで生かされております。……次号へ続く……

花まつりは何？

四月八日は言わずと知れたお釈迦様のお誕生日ですね。よく幼稚園やお寺などで「花まつり」の愛称で親しまれています。

お釈迦様は、紀元前500年頃、実家へ帰省中であつたマヤー夫人がお生みになりました。母親であるマヤー夫人は、お釈迦様をお生みになつてたつた一週間、で亡くなられ、その後はマヤー夫人の妹に育てられました。生まれの瞬間に立ちあがり、七歩歩いて右手を天に向け、左手を地に向け、**天上天下唯我独尊**と言われたのは有名なお話ですね。この意味は、自分が何よりも一番という意味ではありません。私は私、あなたはある、ありとあらゆるものに尊いいのちが生きている、ということなんですね。

ちなみに花まつりには甘茶をかける習慣がありますが、これはお釈迦様が誕生の時、龍が現れ甘露の雨が降ったという情景を表わしているそうです。納得できましたか？

南无阿弥陀仏
衆徒 高山信雄

新しいテーマで法話会が始まります！

今年三月で全34回講義されました「仏説阿弥陀經」に聞く法話会がとりあえず終講となり、四月から新しくテーマを設けてわかりやすくなじみやすい法話を聴聞して頂ける縁を結ばせて頂きます。

和讃のこころ

四月二十一日(水)午後一時半開講
真宗入門法話会

布教使 岡崎・浄栄寺 戸田信師
※聴聞無料 是非一度きりください

賢隆山久遠寺 0923-241-5251
1321 www.kyouden.jp

新しいテーマは、

真宗入門法話会

和讃のこころ

～お念仏編～

和讃』とは、『帖和讃』の二つを指し、『浄土和讃』『高僧和讃』正像末法和讃の二つから成っており、親鸞聖人がお経の内容を、私たちに少しでも解りやすく伝える為に作られたものです。また真宗入門としましたように、皆様により近く法話があることを願ってこのように呼び名に

せて頂きました。是非、皆様お揃いで聴聞して頂けたらと願いながら心よりお待ち申し上げています。実施日は下記予定に御座います。参照して下さいませ。

南无阿弥陀仏

前坊の一周忌を お..致しました！

昨年の二月、前坊守で私の祖母が往生の素懷を遂げました。徐々に弱くなつていく姿は見えておりましたが、それはそれで当然で、生きていることには変わりなく、変わらぬ毎日を過ごしていた突然の出来事でありました。それからもう一年も過ぎたことに驚いています。祖母一周忌の準備をしていく段階で、祖母の事をいろいろと思い出しながら準備をさせて頂きました。『こうしたら祖母は喜んでくれるかな』とか、親戚もこんなことをしたら祖母を縁にいろいろ話せるのかな』と想像しながら、ご法事の準備を進めてました。そして当日。住職が、祖母の法事の度によくこのことを言われます。↓「ずいません、ありがとう」こればかり言っている母でした。しかし、本当の意味は、『こんな自分も生かせて頂いて』との感謝の言葉でありました。」と。

素直に自分と向き合い、他の人を敬いながらすみません、ありがとう』と言える人間になれよとの願いを聞かされた気持ちになる言葉でした。来年は三回忌、いつまでもこの言葉を支えに寺務に励みたいと思います。

南无阿弥陀仏
衆徒 高山信雄

久遠寺第十九代坊守



イラスト：衆徒

編集後記

私事ではありますが、四月初旬に第一子、男の子を授かりましたことをご報告致します。親となる縁を我が子からもらい、感動の日々を過ごしています。実際に触れてみますと自分の親がどのような思いで育ててくれたかのほんの僅かでありますが、感じさせてくれます。親の苦勞は、自分の親の年齢までいかないかわらないと思いますが、自分を育ててくれた親の愛情と親への感謝を、我が子にも注ぎたいと思います。

人生の先輩方である皆様にも温かくお教え頂けたら幸いです。

南无阿弥陀仏
衆徒 高山信雄

今後の予定

4月21日(水)	真宗入門法話会①	和讃のこころ	～お念仏編～	久遠寺本堂
----------	----------	--------	--------	-------

5月16日(日)	高田本山専修寺 御影堂落慶大法会	壇参	※五木寛之氏講演日	高田本山専修寺
----------	---------------------	----	-----------	---------

5月20日(木)	真宗入門法話会②	和讃のこころ	～お念仏編～	久遠寺本堂
----------	----------	--------	--------	-------

6月21日(月)	真宗入門法話会③	和讃のこころ	～お念仏編～	久遠寺本堂
----------	----------	--------	--------	-------

是非皆様お揃いでご参詣ください。

◎お経本は床に置かないで下さい。
◎皆様の寺報記事を随時募集中です。
ご連絡をお待ちしております。